

長崎市民のみなさん！

祖先から受け継いだ自然・土地・屋敷は失いたくありません！

石木ダム

隣の街、佐世保市の水道水が足りないので、この石木川の中ほどにダムを造り一日4万トンもの水を佐世保に持って行く、という計画です。

ダムができると川原地区の13戸はすべて水の底に沈められます。
自分の生まれ育った場所で、自分達が愛している自分の所有する家屋敷で平穩に暮らして行く自由はあるはずですよ。



(川棚町川原地区)

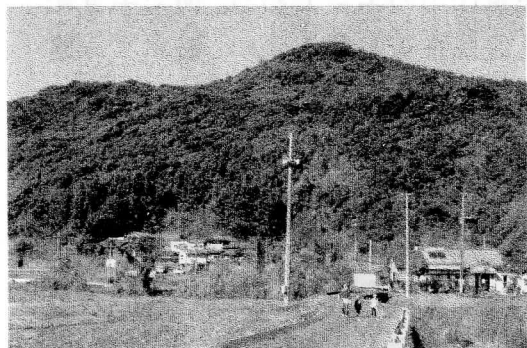
・川棚川の洪水対策のため？

川棚川の洪水対策のためという理由も付けられていますが、石木ダムにかかる集水面積は、川棚川の集水面積の9分の1でしかなく、つまり、水位を下げる効果も9分の1しかないのです。石木ダムは川棚町街部の洪水対策には成り得ない役立たずのダムなのです。

・佐世保の人たちが石木ダムが無ければ、生活していけないのか？

調べてみました。

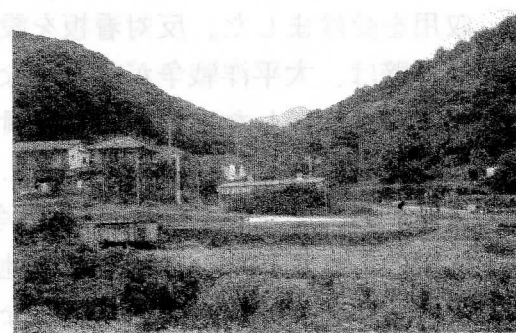
確かに、佐世保は、水が有り余っているわけではありませんが、一日1万トンもの漏水を徹底改善し雨水・井戸水の積極利用佐世保市内の既存ダムの嵩上げ・下水の中水道化などを実施すれば佐世保の水は足りることが判りました。



(川棚町川原地区)

自然環境を破壊し、大村湾の漁業にも打撃を与え、利水・治水面で必要性の無いダムを、県民・国民の285億もの税金を投入して実施する理由はありません。

いま、県がやるべきことは、私達の生活を根こそぎ奪う強制収用に道を開く事業認定を申請することではなく石木ダムが本当に県民・市民にとって必要不可欠なものなのかをダム推進、ダム反対の双方の見解をもつ学者・専門家が論議しあう公開討論会を県民が納得するまで実施することではないでしょうか。



(川棚町川原地区)

ご支援・ご協力をお願いします！